

「放射線検査説明の新時代」
検査説明の実際と取り組み
座長集約

JART 検査説明委員会 委員長 江端 清和
JART 検査説明委員会 委員 荒木 隆博

JART検査説明委員会は平成22年4月30日の厚生労働省医政局長通知「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」（医政発0430第1号）を受け発足した。検査説明委員会は、国民一人ひとりが安心して放射線検査を受けられる環境を提供することを目標としており、すべての診療放射線技師が責任を持って放射線検査の説明を行い、適切な医療行為を患者に提供することが理想である。

本大会では、JART検査説明委員会とJSRT東北支部医療安全班の合同企画として、「放射線検査説明の新時代」をテーマにしたシンポジウムを開催した。このシンポジウムでは、検査説明業務の重要性を共有し、東北地域におけるその普及と質の向上を目指した議論が行われた。

最初に、函館五稜郭病院の小林先生より、患者経験価値（Patient Experience: PX）の視点から検査説明動画の有用性について講演があり、動

画を活用した標準化された説明が患者の理解と満足度の向上に寄与することが示された。続いて、山形県立中央病院の荒木先生より、YouTubeを活用した検査説明運用の実際について講演いただき、CT・MR・一般撮影における具体的な取り組みが共有された。また、青森県立中央病院の前田先生からは、先進的な検査説明運用事例が紹介され、施設での実践的な工夫と課題について講演いただいた。さらに、JART検査説明委員会委員長の江端先生より、最新の科学的知見に基づく生殖腺遮蔽撤廃に関する方向性と、検査説明におけるリスクコミュニケーションの重要性が解説された。

最後のディスカッションでは、参加者から多くの意見が寄せられ、診療放射線技師の重要な業務である検査説明の在り方について活発な意見交換が行われた。本シンポジウムを通じて、東北地域における放射線検査説明の普及に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと言える。